

シラバス（様式例）

授業科目名： TLP120 教育心理学	教員の免許状取得のための 必修科目 / 選択科目	単位数： 2 単位	担当教員名：山名裕子
科目	教職に関する科目（教育の基礎理論に関する科目）		
各科目に含めることが 必要な事項	・ 幼児，児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程（障害のある幼児，児童 及び生徒の心身の発達及び学習の過程を含む。）		
授業の到達目標及びテーマ 発達と教育の関係について理解できるようになるとともに，授業で得られた知見を教育の実践で活かすための基礎となる力を養う。また課題やディスカッションを通じて，自分の意見を述べるようにする。			
授業の概要 発達の理解をもとに，教育の諸問題を取りあげていく。			
授業計画 第 1 回： オリエンテーション・教育心理学を学ぶ意味 授業の概要，進め方，評価の仕方についての説明。教育心理学と発達，教育の関係。 第 2 回： 発達と教育（1）教育心理学における発達 発達の考え方とは何か。発達の知見と教育的実践の関係。 第 3 回： 発達と教育（2）発達と学習の考え方 遺伝と環境の考え方。発達と学習のみちすじ。 第 4 回： 発達の諸相（1）思考の発達 ピアジェの認知発達理論，ならびにその後の理論的展開。 第 5 回： 発達の諸相（2）知識と理解の発達 わかるということはどういうことなのか。知識や理解を深めていく過程。 第 6 回： 自己・社会性の発達と教育（1）自己概念の発達 自己概念の発達と学校教育。社会性や道徳性の発達と学校教育。 第 7 回： 自己・社会性の発達と教育（2）性の社会的役割の発達と教育 性別役割の発達と学習過程，学校場面における性別処遇と誤解と偏見。 第 8 回： 学習のメカニズム 記憶研究の知見からの学習のメカニズム。効果的な学習法，教授法。 第 9 回： 学習の動機づけ 動機づけの成り立ち。やる気を引き出し，持続させるためには。 第 10 回： 学校と文化（1）学校と日常での学習の違いと文化 生活場面での学習と学校での学習の相違，発達期待の文化による違い。 第 11 回： 学校と文化（2）異文化の理解 学校教育における異文化の理解。教育の国際化。 第 12 回： 学校における適応とつまずきの諸問題（1）学校における適応と評価 学校での評価と不適応行動，特に学習のつまずきと対応。 第 13 回： 学校における適応とつまずきの諸問題（2）対人関係のつまずき 対人関係におけるつまずきと対応。 第 14 回： 学校における適応とつまずきの諸問題（3）障害のある子どもへの対応 「障害」を理解するということ。障害のある子どもへの教育的配慮。 第 15 回： 最終試験			
テキスト：井上智義・岡本真彦・北神慎司 2007 教育の方法：心理学をいかした指導のポイント <small>じゅそんぼう</small> 樹村房			
参考書：随時，授業の中で紹介する。			
学生に対する評価 小テスト 30%，課題・ディスカッション 20%，最終試験 50%			